

令和2年度上大久保中学校だより

# 上中だより

## 第7号

令和2年10月1日(木)発行

### 学校教育目標

「温かい学校 感動あふれる学校」

さいたま市立上大久保中学校

〒338-0824 さいたま市桜区上大久保861-1 TEL855-3901

<http://kamiokubo-j.saitama-city.ed.jp>

### 「他人の幸福を求めると…」

校長 堀田 明良

秋分の日も過ぎ、朝晩に秋の涼しさが感じられるようになりました。日も短くなり、下校時刻の6時を過ぎると夜空に月も見えるようになりました。

9月16日には本校第41回体育祭が行われました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、残念ながら保護者や地域の皆様方には公開できませんでしたが、生徒の皆さんや先生方が力を尽くし、一生懸命取り組んでくれました。特に学級対抗リレーの最終レースは白熱したレースとなり、3年生が全力で取り組む迫力と素晴らしさを見せてくれました。

皆さんもご存知の通り、9月12日にテニス全米オープン女子シングルス決勝で、大坂なおみ選手がベラルーシのヴィクトリア・アザレンカ選手に逆転勝ちで勝利し、見事優勝しました。大坂選手は試合後のインタビューの中で、大会を通して人種差別に抗議してきた自身の行動について触れ、「みんなの考えるきっかけにしたかった。SNSを通じてしか反響はわからなかったけれど、情報が拡散されていって、皆が話をしてくれているのがわかってうれしかった。」と述べていました。海外のメディアからは大坂なおみ選手を讃える報道が相次ぎました。イギリスBBC放送は、「大坂は再び自信たっぷりにプレーしているだけでなく、確信に満ちながらも淡々と、自らの影響力を社会正義の推進に生かしている。」と伝えました。アメリカの新聞社ニューヨーク・タイムズは、「2年前に優勝した際、観衆からブーイングを浴び、涙を流した時とは全く異なる勝利だ。彼女は今大会、社会正義を結集し、間違いなくコート内外で王者だった。」と讃えました。そしてアメリカの雑誌タイムが行っている「世界で最も影響力のある100人」に2020年の人物の一人として選ばれました。

一方、大坂選手の行動に対して「スポーツの世界に政治を持ち込むのはいかがなものか。」「BLM (Black Lives Matter 黒人の命は大切だ) 運動で負傷者が出たりなどしているが、この運動は暴力的なのではないか。」などという声もあります。大坂選手の行動に対する賛否は別として、差別は人として許さないとことであるという毅然とした態度と、「自分以外の誰かのために戦う」という思いが、自分を動かす大きな原動力となるという姿を世界中に示しました。この出来事は「他人のための幸福を求めると、自分のための幸福を見つけることもできるであろう。」という格言にも通じるものがあるのではないのでしょうか。

コロナ禍のため、未だに多くの制限が続く日々ですが、10月3日から(陸上競技は9月28日から)市新人体育大会が始まります。参加する1, 2年生の皆さん、競技ができる喜びを味わうとともに、今年度の学校総合体育大会に出場できなかった3年生の思いと応援に行けない生徒や保護者の方々の思いも心に留めながら自分の力を発揮してほしいと思います。